

令和5年12月15日

保護者各位

郡山市立薫小学校長 齋藤 和彦

来年度の「評価の2期制（前期・後期）」並びに「通知票の配付」について

何かと慌ただしい年末の時期となりました。保護者の皆様には、日頃より学校教育へのご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、今学校では、全職員の知恵を結集して、次年度の薫の教育計画を作成しているところです。

コロナ禍・猛暑等々、数々の問題を払拭しての教育活動からは、困難ばかりではなく、これまでのあたりまえを効率化と効果の両面から改めて考え直す必要性も見えてきました。

そのひとつに、「評価の2期制」と「通知票の配付」があります。これまで検討・協議を重ねてきた点でもあります。『職員が子ども達とかかわる時間（心のゆとりをも）を確保するため』を大前提に、来年度から、下記のように見直しを図ることといたしました。

ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

記

<これまでの評価・通知票配付を再検討して>

- 学期は3学期制＝「1学期：約70日間」「2学期：約80日間」「3学期：約50日間」
 - ・ 3学期の短い日数・少ない授業時数・学習内容（まとめ・復習）の評価意味を検討しました。
- 1学期の学級作りや学習指導、長期休業前の安全指導と評価（通知票）に追われる慌しさ
 - ・ 子どものがんばりやよさを日々の授業の中で十分に認め称賛するゆとりある指導をめざしたい。
- 「学期に追われる評価」（評価多忙）から「指導と一体化した評価」（適正評価）への転換

学期は、これまで通り「3学期制」

評価のみ「2期制」とします

<来年度の「評価の2期制」と「通知票の配付」について>

- 学習状況の評価を【1期：4月～9月】【2期：10月～3月】の年間「2期制」とします。
 - ・ 1期と2期それぞれ長いスパンで子どもの学習や生活状況を適切に評価します。
- 通知票作成事務にゆとりをもって行うようにし、その間の日々の指導を充実させます。
 - ・ 児童にとっての長期休業や冬季休業の時間（職員は勤務日）を有効に使って評価します。
 - ・ 上記のような計画的な通知票作成事務により、日々の指導をこれまで以上に充実させます。
- 通知票の配付は、【1期末：9月末日】・【2期末：3月23日】の2回とします。
 - ・ 1学期末（夏季休業前）に実施する教育相談や2学期末（冬季休業前）授業参観等において、お子さんの各教科テスト数値の資料配付等を通して、学習状況をお知らせします。
- 学期末時期にも学校行事（見学学習や宿泊学習）を位置づけることが可能になります。
- 担任が子ども達とかかわる時間（心のゆとり）を確保し、これまで以上に、子どもに寄り添った指導や支援を通した関係性をつくることにつながるようにします。